

事業名	学校体育振興費			調査番号	113
細事業名	学校体育指導力向上事業費	財務コード	164325		
担当部課室	教員委員会	スポーツ健康課	学校体育	担当 (内線)	8429

事業の概要

実施期間	始期 H26 年度 ~ 終期 年度	
実施主体	県(直営)	
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして
	小学校では採用2年目、中・高では経験5・10・15・20年目の教員	諸課題に応じた実技講習・講義を受講することで、指導方法を身に付けている
結果、何に結びつけるのか	教員の指導力向上、児童生徒の体力の向上及び健康の保持増進	
内容	小学校教員体育実技講習会 5日間(採用2年目対象) ・水泳、保健、ボール運動、表現運動、器械運動、体づくり運動、研究協議 中学校・高等学校体育実技指導者講習会 3日間(経験5・10・15・20年目対象) ・バレーボール、保健、体づくり運動、ダンス、柔道、講義 学校体育研究会 1日間(県下公立小中高特別支援 各校1人) ・教科調査官を招聘して講演会の開催	

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
活動指標	講習会の開催日数 小学校 5日 中・高 3日	目標			5日 3日	5日 3日	5日 3日	5日 3日	
		実績(見込)				5日 3日	5日 3日	5日 3日	
		達成率				100.0	100.0		
		達成区分				b	b		
成果指標	講習会参加者数	目標			86人	96人	100人	72人	
		実績(見込)				89人	96人	100人	
		達成率				100.0	100.0		
		達成区分				b	b		
決算(予算) 単位:千円					232	242	218	75	

事業の評価(平成27年度の業績評価)

活動指標	b	評価	
成果指標	b		講習会参加者数は100%を達成している。意図した成果を十分に上げている。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

見直しの必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 その他()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明	事後アンケートでは「自分自身の技術の向上と指導法を学ぶことができた」、「どの領域でも様々な指導方法を学び、早く子供たちに運動の楽しさを伝えたい」等、受講後、すぐに役立つ内容である。		
見直しの余地	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある その他()		
その他	説明			
見直しの必要性	有	小学校では、中央研修で実施する領域に関わらず、例年、5領域(体づくり運動、水泳、ボール運動、器械運動、表現運動)を実施している。さらに、陸上競技を加えて、学習指導要領に示されている6領域全ての領域を扱う必要がある。		

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	平成29年度から小学校講習会の内容に「陸上競技」を加えることとしており、今まで以上に児童の体力向上と教員の指導力向上が期待できる。
----------	----	---

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。